

月報 シオン山

2023年4月2日発行 (No391)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

【月間聖句】

二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

(ルカによる福音書24章32節)

神さまのなさることは・・・・・・

酒井光子

神さまのなさることは私たち人間では想像もつかないことばかりです。良い出来事よりも悪い出来事の方が多いのですが、その中に思いもよらない恵みが隠されています。昨年身近に起こった二つの出来事を思うと、そのように思われてなりません。

一つ目は、長女の病気発見のいきさつです。7月中旬に胃に強い痛み

を感じて、仕事を抜け出してかかりつけ医の診察を受けたところ、早急に胃カメラの検査を受けるように言われたそうです。仕事の都合があり何度も断る長女に、主治医は一步も引かず検査を受けるように言い続けたので、とうとう根負けして2日後に検査を受けることにしました。

検査の結果十二指腸潰瘍が見つかりそれで終わりと思ったのですが、胃の一部に違和感を覚えた主治医から「細胞を採って生体検査に出します」と言われ、その結果を待つ事になりました。約3週間後に出た結果は「胃癌」という診断でした。もしかしたらと思ってはいましたが、はっきりと診断を下されると、早期だと思っても気持ちは重く心配でたまりませんでした。ただ、普通であれば見逃してしまうかもしれないくらいに初期の段階であった為、内視鏡で摘出手術をすることが出来、入院も短く、予後状態もよく過ごすことが出来ました。

手術で摘出された細胞を検査したら「スキルス性胃癌」になる細胞であったことが解りました。このタイミングでわからずに半年、一年がたっていたらと思うと背筋が凍る思いでした。手術をしてくださったお医者様からは「癌」が見つかったのは奇跡的であると言われました。

たまたま胃の具合が悪くて病院に行き、お医者さんからしつこくカメラを勧められ、胃壁の違和感を覚えて検査し、「癌」が見つかり手術に至った。「偶然が重なって」という人もいるでしょう。というより、ほとんどのの方がそう言うでしょうね。しかし私には神さまのご計画の中の出来事、導きであったとしか思えませんでした。娘の命を守ってくださったことに心から感謝しました。

二つ目は、みどりの身の上で起こったことです。長女の病気と時期を同じくして、会社の都合で退職となりました。

二つの出来事は二人にとって良い出来事ではありませんでした。二人とも先々の不安の中に身を置いていました。でも考えを変えてみると、二人が同時期に休職、離職していることなど今までに一度も無く、大きくなってからは姉妹で一緒に旅行をしたことなどありませんでした。そこでこの機会に旅行に行こうということになり、私、長女、みどり、孫二人の女五人で一泊旅行に出かけました。「お互い復職、再就職したら次はないかもね」と言いながら、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

神さまは悪いと思う出来事の中にあってもこのように素敵なプレゼント（恵み）を与えてくださいます。どんな苦難があっても、その中で神さまは喜び、恵みを与えてくださいます。

今から、シオン山教会は無牧師で苦しい状況になりますが、その中で神さまからいただく喜び、恵みを覚えつつ、この期間を歩んでいきたいです。